

浄土真宗本弘寺婦人会だより

平成29年9月

第44号

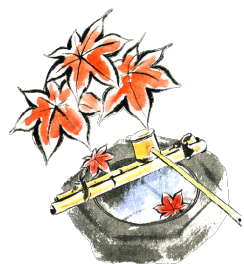
会員の広場

永年に亘り婦人会を支えてくださったお二人の役員さん、滝井江子さんと栗田満江さんが本年6月の総会を以て定年退位をされました。本当に御苦勞様でした。有り難うございました。これからは婦人会の一員としてご指導いただければ幸いです。

婦人会役員退任にあたり一言

今年の夏はたいへん暑かったですね。私は常日頃、「あなたは毎日明るく元気でいいね！」と言われてきましたが、さすがに今年の夏は参りました。私もお陰様で八十歳の年を迎えさせていただき、婦人会のお役も若い方にバトンタッチをし、これからはゆっくりと聴聞させていただけると安堵しておりましたら、婦人会だよりの原稿の仕事をいただきました。

私、こんな不思議な夢を見ました。白い一枚の紙を出され、私に宿題ですと渡されたのです。夢から覚めたあと、いったいこの一枚の紙にどんな答えを出せというのだろうか？と自問しておりましたところ、婦人会だよりの原稿の依頼が飛び込んできました。白い一枚の紙の夢は原稿のことだったのだと知りました。ものを書くことの不得手な私に・・・白い一枚の紙をいただいたのも御縁と思いながらも思案に暮れます。



私も御同行の仲間に入れていただき早20年。その間に親鸞聖人様が辿られた居多ヶ浜、笠間、下妻、稲田にもお参りさせていただいたことが思い出されます。今まで同様、これからもずっと皆様とご一緒にご聴聞にいそしみ仏法の喜びを得てお浄土に参らせていただきたいと思います。

平成29年9月12日

栗田満江

ひとりではない

一番の元気印のあなたがどうして？周りの誰からもそう言われました。春のお彼岸も終わり3月26日の日曜礼拝に出かける朝、さあ今日のお花片付けは大丈夫かな？なんだか一雨来そうな空模様です。3月末なのになんかちょっと寒いかな？その時めまいを感じたのです。それが脳梗塞の前兆だとは気付きませんでした。そのうちにろれつが回らなくなり、右半身がおかしくなり、救急車を呼んでもらい岡脳神経外科に入院。3週間の治療が始まりました。

以前、前住職のご法話で人は間柄でしか生きられない動物だから人間なん

だと拝聴させていただいたことが心にしみていました。去年の10月に血圧の薬を服用するようになったとき遺伝もありますよといわれました。そういえば母も脳梗塞で亡くなったなあ。夫はもちろん子供3人と孫、周りのたくさんの方々にどれだけ心配をかけたのでしょうか。ベッドの上で自由のきかない半身のこともより駆けつけてくれる一人一人に顔を見るだけで申し訳なく有り難く涙があふれてくるのです。どれだけ多くの人に支えられていたのだろう。元気なときには見えなかったものがたくさん見えてくるのです。病気も悪くないなと気付かされました。

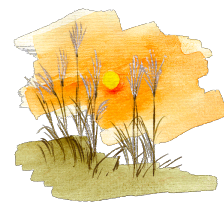
自分では用の足せないことを快く処理してくれる看護師さん、介護士さん達。ごめんね！！ありがとう！！みんなの名前を使える左手で書いて覚えました。そして〇〇さんごめんね。〇〇さんお願い。そしてありがとうと感謝の気持ちで言えるのです。私はやっぱり一人じゃないんだ。これからも夫や子供達、孫達、婦人会の皆さん、地域の友達、数え切れない人のお世話になり迷惑をかけ、たくさんの方のありがとうの言葉を言いながら毎日を過ごしていこうと思います。動かなかった半身もお陰様で少しずつ動くようになりましたので婦人会の皆様にはいっぱい支えていただきながら仏法聴聞できますことを楽しみにしております。合掌

小林絢子

仏法を聴聞して

十四年に主人が亡くなり、知人の紹介で本弘寺さんのお世話になることができました。たまたま私の実家も浄土真宗でした。仏教にはまったく無関心で親に言われるままにただ手を合わせていた私なので仏さまに対しどう向き合っただけかすら分かりませんでした。そんな時、親鸞聖人七百五十回御遠忌法要に参詣させていただき、初めて婦人会のことを知り、即入会させていただきました。

定例会、その他行事に参加し仏法聴聞させていただき徐々に仏さまのありがたさを思い知りました。毎回仏法を聞かせていただいた後はなぜか心が安らぎ、穏やかで気持ちにも余裕ができ、前向きに素直に反省したりととても優しくなれる自分がそこにいるのです。今は仏様に守り支えていただいていることに感謝の気持ちで南無阿弥陀佛と毎日手を合わせている私です。そして一人でも多くの方に仏法に耳を傾けていただきたいと思います。盛岡幸子



後記

婦人会会員さんのお仲間を募集いたしております！

婦人会の定例会は毎月8日午後1時より午後3時までです。本堂にて皆さんでお正信偈をお勤めし、ご住職のご法話を聞かせていただいております。そのあと、客殿にてお茶をいただきながら和気藹々の座談会を行っております。敷居が高いとおっしゃられず一歩踏み込んでみられませんか？楽しく浄土真宗を学びましょう。